

2019 年度

アメリカ留学報告書

留学先：セントラル・ミズーリ大学

留学期間：8月22日（木）～12月12日（木）

新潟国際情報大学
国際学部国際文化学科
学籍番号：21018013
伊藤健太

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	当初目的・目標への達成度	6
6	反省・課題	6
	謝辞	7

付録

	留学日誌	7
--	------	---

1 留学先及び留学期間

留学先：セントラル・ミズーリ大学

留学期間：令和1年8月22日（木）～令和1年12月12日（木）

2 留学先概要

(1)大学について

セントラル・ミズーリ大学は、1871年に創設され、5つの学部と1つの大学院を擁する。アメリカミズーリ州のウォレンズバーグにあり、のどかで安全な地域に位置している。13000人以上の学生がおり、全米、世界各国から2000人以上の留学生在籍している。キャンパス内には、スポーツジムや映画館、ボーリング場など様々な施設もある。充実した環境のもと、安全に生活し勉強に励むことができる。

(2)大学で行われている教育について

各国から留学生を受け入れており、今回参加した **Intensive English Program(IEP)** いわゆる英語集中コースでは、リーディング、ライティング、グラマー、リスニング、スピーキングのスキル向上を目的とした授業が行われる。また、アメリカの歴史や文化も学ぶことができる。

3 留学目的

留学の目的は、英語力とくにスピーキング力とリスニング力の向上である。日本での英語の授業はリーディングに重きが置かれて話す機会が少なく、やはりスピーキング力やリスニング力が圧倒的に弱いと感じていた。英語を勉強して単語や文法を覚えたと思っても、それだけでは話すことができるようにはならない。一番大事なことは、その覚えたものをアウトプットすることである。英語を覚えて終わるのではなく、実際に会話で使うことができるようになることが英語を学ぶ上で大事であると考えた。現地に行き、英語でコミュニケーションを取るしかないという状況に身を置くことによってこれらのスキルの向上を図ることを目的とした。

また、異文化理解も目的とした。日本とは異なる文化で、多様性のあるアメリカ文化を実際に体験し理解を深めたいと考えた。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
8	22	到着
	23	クラス分けテスト
	24	オリエンテーション
	26	授業開始
	29	IEP activity
9	5	アメフト観戦
	13	メジャーリーグ観戦
10	12	Home Coming Parade
	31	ハロウィンパーティー
11	15	The Chainsmokers concert
	18	学内スポーツ大会優勝(フットサル)
	19	ゲーム switch スマブラ大会参戦
	21	映画鑑賞
	23	Thanksgiving break
12	1	
12	6	TOEIC
	10	授業終了
	11	IEP ceremony
	12	出国
	13	帰国

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00~ 10:50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills	TOEIC
11:00~ 12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar	American History or US-Japan Relations
Lunch Break					
14:00~ 14:50	Pronunciation	Communication Skills Lab	Pronunciation	American Culture	
15:00~ 15:50	Reading Lab	American Culture	Writing Lab	※Grammar Lab	

※Grammar Lab is not in class.

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) Reading

本などの長文を読み、問題を解いていくことで理解を深める授業。戦争に関する長文なども読んだ。

ii) Writing

とにかく様々なテーマについてエッセイを書く授業。エッセイを作る上での構成や書き方も学べる。

iii) Communication Skills

あるテーマについてリスニングをし、ノートにまとめ、ディスカッションをする授業。グループでのプレゼンテーションと個人でのプレゼンテーションがあり、自分の意見をしっかりと述べる必要がある。

iv) Grammar

文法を学ぶ授業。現地で、英語で習うからこそ細かい部分の意味の違いや使い方を学ぶことができる。

v) Lab

Lab ではそれぞれ reading, writing, communication skills, grammar の授業の復習もしくは続きを行う。

vi) Pronunciation

4人程度の少人数に分かれ、担当のカンバセーションパートナーから発音を学ぶ授業。日

常会話やトピックについて話しながら発音を学んでいく。L と R や th の発音などに注意する必要がある。

vii) American Culture

主にアメリカの文化について学ぶ授業。ハロウィンパーティーなどの楽しいイベントも行った。

viii) American History

アメリカの歴史について学ぶ授業。昔のアメリカの制度に支配されている人々をグループで演じるという課題も出された。ユニークで楽しく学ぶことができた。

ix) US-Japan Relations

日米関係について学ぶ授業。戦争のときや現在、これからの日本とアメリカの関係性について話し合い学んだ。

x) TOEIC

学期末に行われる TOEIC への対策をする授業。リスニングや時間配分のコツを学び、問題を解いて本番に備える。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 英語力の向上

とくにスピーキング力、リスニング力の向上を目指した。IEP にはアメリカ人はいないので、なかなかアメリカ人と会話する機会はなかったが、先生方や他国からの留学生と日常会話をすることができた。初めは、聞かれていることを理解するのも困難であったが、徐々に聞き取ることができるようになった。繰り返し話す聞くことでそれらのスキルの向上を感じた。

ii) 異文化を理解すること

日本とは異なる文化を体験することができた。戸惑う場面もあったが、生活を送ることで自然に慣れていった。授業や、普段の生活からアメリカの多様性のある文化の理解を深めることができた。

6 反省・課題

リスニングはある程度経って慣れていったが、質問に対しての返答や自ら話題を振り会話を続けることにはやはり困難が残った。留学に来る以前よりとても改善されたが、会話のレベルを上げるにはまだまだ足りないと感じた。他国の留学生はとても積極性があり、授業中も積極的に発言、分からないときはしっかり先生に質問をしていた。それは重要なことではあるが、日本人留学生はやはり自身の英語に自信を持たず消極的になってしまう場合が多かった。そして、一番の問題点は、日本人同士で団体行動をして英語を話す機会を減らしてしまっていることだ。授業中でも、分からないときは日本人を頼ってしまいつい日本語で

話してしまう。これでは、英語力向上には繋がらない。これらを改善するためには、間違いを恐れず自信を持ち、話す、英語を使うということが大事である。スキルを上げるために、積極性とミスを恐れずに話すということを留学後も心掛けたい。

謝辞

セントラル・ミズーリ大学の先生方の親切な指導のおかげで、有意義な留学生活を送ることができましたこと心から感謝しています。そして、留学のための準備など様々な面からサポートしてくださった新潟国際情報大学の先生方、学務課の方々、本当にありがとうございました。

付録：留学日誌

9月13日
メジャーリーグ観戦
初めての野球観戦がメジャーリーグの試合だった。白熱したシーンもありとても楽しかった。



10月12日

Home coming parade

Home coming parade に参加した。それぞれが各国の伝統的な服装を着て参加した。日本人は浴衣を着て、地域の子供たちにお菓子を配りながら歩いて回った。



11月15日

The Chainsmokers concert

この日は、The Chainsmokers のライブを観にカンザスシティに行った。まさか好きなアーティストのライブに留学期間中に行くことができるとは思っていなかったのも嬉しかった。素晴らしい盛り上がりのあの時間は最高だった。



11月24日～11月27日

Thanksgiving Break

Thanksgiving Break では、ニューヨークに行ってきた。タイムズスクエア付近では、CDを急に売り込まれたり、予約していたホテルがチェックインできなかつたりとトラブルはあったが、英語で何とか問題を解決することができた。観光やショッピングはとても楽しく充実した旅行であった。この旅行で、英語力の向上も感じる事ができた。



12月11日

IEP ceremony

帰国前の IEP ceremony であった。このセレモニーで、スピーチを担当した。人前で話すことに緊張はしたが、この留学生活で学んだことを活かすことができた。約4カ月の留学であったが、本当に毎日濃く充実した生活を送ることができた。関って下さったすべての方々に感謝したい。

